

香川ブランドの価値を高める！かがわの地域資源販路拡大支援事業

2022年4月～2024年2月実施予定 (公益財団法人かがわ産業支援財団)

【課題】

本県の中小企業者等の経営基盤は脆弱で、経済情勢等の変化や地域間競争・国際競争の激化により様々な影響を受けやすいため、香川ならではの地域の強みを最大限生かすことが不可欠であるが未だ不十分である。

また、中小企業者等からも蓄積された強みとなる資源・技術をさらに磨き、市場動向や消費者ニーズを把握し販路拡大を図っていききたいという要望が根強い。

【目的】

地域の強みを生かすことができるよう、地域の資源に特化し、ブランド力の強化や販路拡大のための事業を実施することで、香川県の顔となる地域の資源が全国的に認知され、販路拡大につながるよう中小企業者等の支援を行い、地域の認知度や地域活力のさらなる向上を目指す。

【都道府県の施策との連携・親和性】

香川県が掲げる政策である「香川県産業成長戦略」（平成30年3月改定版）に沿って、独自の強みを持つ企業の競争力強化や地域の強みを生かした新たな活力と付加価値を生み出す成長産業の育成に取組み、力強く着実に成長していく経済社会の実現を目指す。

本事業の内容

≪地域資源ブランド化・販路拡大支援事業≫ (22,000千円)

地域の強みを生かしたブランド力強化、販路拡大のための助成メニューとし、地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための企業の新たな取り組みを支援するため助成金を交付する。

≪地域資源販路拡大支援事業≫ (10,660千円)

【かがわ魅力発見事業】

○地域資源活用型食品見本市支援事業 (1,160千円) (~2023年3月)

オリーブや希少糖、機能性表示食品といった香川の産品をリードする地域の資源に特化し、首都圏又はオンラインで開催される食品見本市への出展を支援する。

○芸術の街かがわ×地域の資源 新商品・ブランド開発プロジェクト (8,730千円)

「瀬戸内国際芸術祭」などをはじめ芸術の街としても注目されているアート県の強みを生かし、芸術（クリエイター）と香川ならではの漆器や石材、手袋等の地域の資源を扱う企業とをマッチングさせることで、地域の資源の魅力をさらに引き出すような新商品開発等を行うプロジェクトを立ち上げる。

香川ならではの産品である香川漆器や庵治石、手袋等の工芸品を中心とした地域の資源に特化し、一定の開発期間を設け、新しいデザインやPR方法を取り入れた新商品開発やパッケージデザイン等を含む既存商品のブラッシュアップ等を開発チームで取り組む。企業と県内のクリエイターが協力することで生まれる新しい発想で、ブランディングから新商品開発やパッケージデザインの刷新等までを開発チームで行う。

併せて、ブランド構築のためのセミナーを開催するほか、新規顧客獲得のため、開発商品のターゲットに合ったSNSツールの活用支援セミナーも実施することで、より効果的な支援とする。

なお、1年目はマッチングに、2年目は新商品開発やパッケージデザイン等を含む既存商品のブラッシュアップに注力する。

【地域資源コーディネート事業】 (770千円)

上記助成金事業等の幅広い利用を促進するため、コーディネーター等を配置し、シーズの発掘やブラッシュアップ等の支援を行う。また、上記支援事業の助言やフォローアップ等も行う。

【成果目標】

- 直接的成果目標
 - ・助成金交付事業：商談件数25件
 - ・食品見本市出展：商談件数60件
うち成約件数1割程度（出展直後）
 - ・開発プロジェクト：
 - 肯定的評価80%
 - 新規アイデア10件
 - ・コーディネート事業：
 - 相談件数10件
 - 幅広い利用促進と確実な事業遂行につながる。
- 間接的成果目標
 - ・助成金交付事業終了後3年以内の事業化率70%以上、総売上高の年率3%以上の増加

【波及効果】

雇用創出や地域にヒトが根付くことで地域活力が生まれ、地域産業や地域社会が活性化され、地域経済の発展に寄与する。

【将来の支援目標】

かがわの地域資源の認知度向上及び販路拡大のため、効果的な事業は引き続き継続するとともに、新たな販路拡大支援策を実施することで、本県の付加価値率（製造業）を全国平均より高い水準にする。